

蒲生干潟周辺の塩分濃度 71

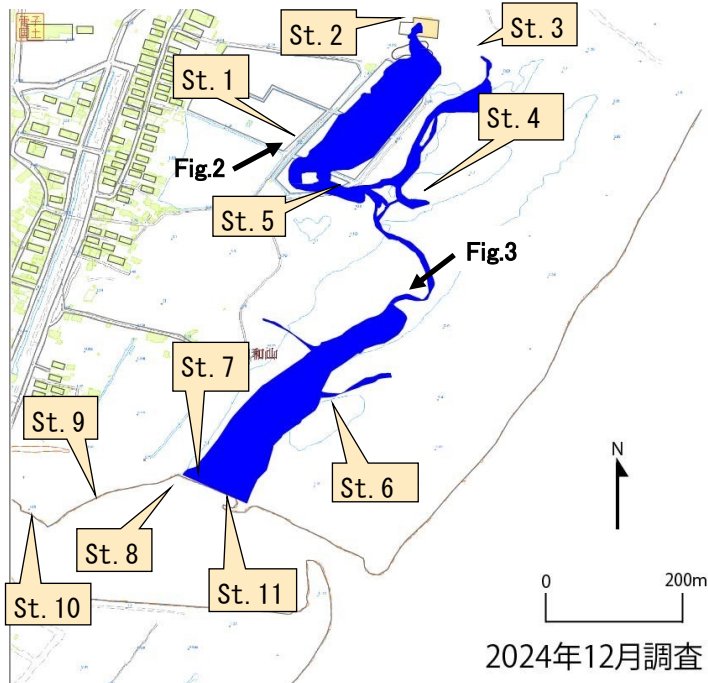


Fig.1 2024/12/18 採水点

Table.1 2024. 12月 塩分濃度(%)

採水点	2024 12/18	2024 11/28	増減	2023 12/20	増減
St. 1	1.3	2.1	-0.7	0.6	0.7
St. 2	1.8	1.7	0.1	1.4	0.4
St. 3	2.2	2.0	0.2	1.4	0.8
St. 4	2.4	2.7	-0.3	1.4	1.0
St. 5	2.0	2.4	-0.4	1.3	0.7
St. 6	2.7	2.7	0.0	2.3	0.4
St. 7	3.4	3.4	0.0	3.2	0.2
St. 8	3.4	3.4	0.0	2.8	0.6
St. 9	3.5	3.0	0.5	3.2	0.3
St. 10	3.3	2.2	1.1	1.5	1.8
St. 11	3.3	3.4	-0.1	3.2	0.1

※ 汽水基準値(0.05~3.0%)



Fig.2 北側潟湖St.1付近の様子



Fig.3 北側潟湖と南側潟湖の接続部分

調査日時：2024年12月18日（水）10:30~11:30（干潮 10:56 潮位 101cm），天気：晴れ

干潮の時間帯での調査。Fig.1に示す採水点St.1~St.11を対象に塩分濃度の測定を行った。塩分濃度の測定については前月までと同じ方法で行った（過去レポート参照）。それぞれの結果を2024.11月塩分濃度（%）としてTable.1に記載し、前回までの調査（2024.11月，2023.12月）結果と比較した。

干潮のため、北側潟湖のSt.1付近では湖底が露出している部分があった（Fig.2）。北側潟湖と南側潟湖の接続部分は、干潮で水が少ない状況であっても、途切れること無く接続していた（Fig.3）。潟湖内の塩分濃度は、St.1以外で先月とほぼ同等の値を示した。St.1付近では、北西ビオトープから水の流入が確認できた。濃度が下がった原因のひとつと考えられる。昨年との結果と比較すると、河口まで含めたすべての観測点で今年のほうが高い値を示した。

（沼尾和弥）